

2020-21 年度

名古屋名駅ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 年度 R.I. 会長
ホルガー・クナーRotary
Club of Nagoya Meieki

クラブ会長方針「美しく行動しよう」

スローガン「他人の意見を尊重しよう！」

名古屋名駅ロータリークラブ
承認：1991年4月17日
例会日：水曜日 12:30～
例会場：名鉄ニューグランドホテル会 長：山本裕三
副 会 長：寛 正紀
幹 事：加藤友康
クラブ会報：田中敏晶

●名古屋名駅ロータリークラブ 事務局：TEL.052-453-0808 FAX.052-453-0800 E-mail: meiekirc@f5.dion.ne.jp http://www.nagoya-meiekirc.com

第1358回例会
(洋 食)

外部卓話例会

コロナ禍でも地域の災害医療を担う、名古屋第二赤十字病院。

2020年11月18日(水)
(令和2年) 曇 No.13

□ 司会 高橋健治 会場運営委員

□ ゲスト紹介

名古屋第二赤十字病院 佐藤公治院長
藤居靖幸様

□ 出席報告

会員総数85名(免除者15名)

義務者出席52名 免除者出席9名 総数61名

出席率77.22%



会長あいさつ

寛 正紀副会長

本日、山本会長が欠席のため、
代わりにお話をさせていただきます。山本会長はお酒がお好きです
が、今夜はボジョレーヌーボー
の解禁日です。私たちの世代は、解禁日に空港に届く
ワインを見て盛り上がっていました。しかし、ボ
ジョレーヌーボーの売上はバブル期と、ワインブ
ームだった2004年をピークに、ずっと下降傾向です。ボジョレーヌーボーの売れ方を見ると極端で、
解禁日から4日間で年間売上の7割を売ります。ワイン全体で見ると、ボジョレーヌーボー解禁日
と共に、1年で沢山売れる機会がクリスマスです。面白いことに、ワインと同じように、ボジョレー
ヌーボー解禁日とクリスマスによく売れる商品が
もう一つあり、それがフランスパンだそうです。今
年は、コロナ禍により家で過ごすことが多くなった
影響で、ワインもフランスパンも例年より売上が
増えているようです。今夜のボジョレーヌーボー
解禁、そしてクリスマスに向けて、家庭ではどれく
らいワインが楽しめるでしょうか。

□ 幹事報告

加藤友康幹事

(1) 年内の例会予定/次週25日(水)：休会。12月16
日(水)：夜間例会の予定でしたが、コロナ拡大の
ため、12時30分～13時30分の通常例会へ変更。

(2) 台湾でのRI国際大会(来年6月12日(土)～16日)

(水)の登録料は、12月15日(水)までは早割特典で
365ドルになります(通常515ドル)。クラブを
通しての登録をご希望の方は、11月30日(月)まで
に事務局へご連絡下さい。また、ガバナーナイト
(6月13日(日))も併せて参加をご検討下さい。(3) 地区大会(3月14日(日))の出欠の回答は11月20
日(金)までです。回答未了の方はWEBシステムよ
りご回答下さい(URLはメールをご覧ください)。(4) 本日の配布物は「ロータリーの友11月号」、「11
月、12月のお知らせ」です。

(5) 本日例会後、理事会を開催します。

□ ロータリー財団月間ご協力をお願い

R財団・米山奨学会委員会

山田晃也委員長

今月はR財団月間です。R財団の標語「世界で良
いことをしよう」は、1917年にR財団の父・アー
チ・クランフ氏が述べた言葉が由来です。アーチ・
クランフ氏の提言から100年以上、ロータリアン
はR財団からの補助金を使って世界や地域社会に
変化をもたらす有意義な活動を実施してきました。
その補助金は私たちロータリアンや支援者の寄付
で支えられています。皆様1人ひとりのご寄付が、
世界で良いことをすることにつながっています。そこでご協力をお願いします。本年度の地区目標
は1人当たり年次基金150ドル、ポリオプラス基金
30ドル、合計180ドルです。先日、私は坂村真民の
詩「二度とない人生だから」を読んで感動しました。
皆さんも、二度とない人生ですから、世界で良いこ
とをしましょう、TOGETHER!

12月は疾病予防と治療月間です

< 例会開催予定 >

◇第1359回12月2日(水) 通常例会(和食)

◇第1360回12月9日(水) 通常例会(カレー)

誕生日等祝福 新会員卓話 同好会紹介

「ロータリーの友」12月号配布

11月25日(水) クラブ休日 定款第7条第1節(d)-(1)

同好会紹介

□「RYLAセミナー」「緑の散歩道プロジェクト」 青少年奉仕委員会 長谷川徹委員長

ロータリー青少年指導者養成セミナー（RYLA）は、昨年度はコロナで中止でしたが、今年度は来年3月27日（土）～28日（日）、宿泊形式で開催の予定です。受講対象者は、指導者としての資質のある高校生から30歳までの青少年です。定員は80名ですが、当クラブからは1～2名を推薦したいと思います。周りにやる気のありそうな若者がいれば是非ご推薦下さい。事務局への提出期日は11月20日（金）です。

続いて、緑の散歩道プロジェクトの活動報告です。これは、8月22日に地区の各ローターアクトが企画を持ち寄ってプレゼンし、最優秀賞を受賞したプロジェクトです。発案は当クラブにも何度か来て頂いている小林ジュリエットさん。11月7日に実施され、当クラブからは加藤幹事、早川さん、六鹿さんと私の4名が参加して植樹をしました。



外部卓話

◇ご紹介

両角國男会員組織委員長

第二日赤は名古屋の医療の最後の砦です。国内・国際救援の基幹施設でもあります。その院長の佐藤先生は、専門の脊椎整形外科で国内のみならず国際的にも大変高い評価を受けるスーパードクターの1人です。では佐藤先生、宜しくお願いします。



「コロナ禍における災害医療」

名古屋第二赤十字病院
佐藤公治院長

赤十字は病院での活動だけでなく、国内・国際災害があれば現地へ赴いて医療活動をしています。

地球温暖化のせいか、毎年豪雨災害が起こっております。今年7月も、熊本での川の氾濫をはじめ、各地で非常に大きな災害が起きました。日本赤十字社はすぐに救護班53班を派遣し、災害医療を行ったほか、救援物資を現地へ送り届けました。

現在のコロナ禍で、7月のような豪雨や地震など自然災害が起こると大変です。実は7月の熊本豪雨では、救援隊でコロナが発生しました。コロナ禍と自然災害の複合が、今の災害医療の課題です。

それを踏まえ、3密防止、マスク着用、健康観察、消毒などの感染予防対策をして、持ち込まない、拡げない、もらわないを徹底し、コロナ禍でも安全な災害医療を提供できるようにしております。

また、東日本大震災をはじめ多くの災害医療を経験してきましたが、被災地では救護班が全国から集まってきて、被災者、患者さん、医療者の動線を分けることが難しくなり、混乱してしまうんですね。そこで、この地域の災害に備えて、災害医療を統一して管理できる基地を作ろうと考え、当院に今年8月、「日赤愛知災害管理センター棟」が竣工し

ました。この地域で災害が起されば全国から救護班がここに集まり、指令を受けて愛知県内、東海地方へ飛んでいきます。免震構造の4階建てで、通常は常設の災害対策本部、多機能ホール、色々な会議室等があり、災害時にはくるっとひっくり返すとサンダーバードの基地になる、そんなイメージです。災害時でも電気・通信・水などのインフラは全て自己完結型で賄えるようになっております。

さて、コロナは第3波が来ております。メディアを見ていると大変恐ろしい病気に思われますが、今はほとんど治るようになっております。しかし、ただの風邪というのも極論で、正しく防護して正しく恐れることが非常に大事だと思います。

当院は高次医療機関として、酸素投与が必要な中等症の患者さんや、それより重い重症の患者さんなどを診ております。2～4月の第1波ではMAX 10人程の患者さんでしたが、7月以降の第2波では20人近くになり、これまで延べ100人程のコロナの患者さんを診ております。今日現在、中等症の人は8人程で、重症、ICUの患者さんはいません。

当院では安心して病院に来て頂けるように、院内の設備を整備しました。入口を集約して来院時の検温を徹底。発熱などがあつた場合は、院外のテントの中でPCR検査を行います。入院・治療のためにコロナ専用病床を設置し、陰圧室を増設しました。以前は50程あつた病床が今は20程しか使えませんが、安全に療養できる体制を作っております。

医療機関への受診控えで当院の入院患者さんは2～3割減と厳しい状況にあります。どの業界も苦労されていると思いますが、病院もそんな状況です。

最後に押し付けがましいお願いですが、日本赤十字社愛知県支部ではコロナ感染症対策へのご寄付をお願いしております。宜しくお願いします。

◇謝辞

寛 正紀副会長

ニコボックス

- 中RC 杉本仁至さん(2007-08年度のガバナー補佐)の社葬に出席のため、例会を欠席します。寛副会長、宜しくお願いします。(山本裕三さん)
- 名古屋第二赤十字病院院長 佐藤先生の卓話を楽しみにしています。(西川達郎さん)
- 名古屋第二赤十字病院 佐藤院長、卓話宜しくお願いします。(寛 正紀さん)
- 佐藤公治様、藤居靖幸様、本日はお越し頂きありがとうございます。卓話を楽しみにしております。(加藤友康さん)
- 名古屋第二赤十字病院 佐藤院長の外部卓話に感謝。市民を守るため最前線でコロナに立ち向かう第二赤十字病院への支援をお願いします。(両角國男さん)
- ①第二日赤 佐藤院長のお話を楽しみにしています。②財団月間、皆さん、我々の活動資金に協力しましょう。(神野重行さん)
- ようこそ、佐藤先生。卓話を楽しみにしています。(寺島洋治さん)
- 第二日赤 佐藤公治先生の卓話に感謝して。(田口 望さん)
- 日本大学と新型コロナの共同研究を始めました。(高田統夫さん)
- 久々のワイン会をAKBと合同で11月26日(木)開催します。コロナ対策を万全にして楽しみましょう。お申込みは本日に清水まで。(清水順二さん)
- 健康に感謝して。(川田武司さん)
- メールアドレスを変えました。皆様お手数をおかけします。宜しくお願いします。(二ノ宮眞佐恵さん)
- 配偶者誕生日。仕事と家庭の両立、ご苦労様です。いつも感謝しております。(吉川拓雄さん)
- コロナに負けず、前向きにいきましょう。(飯田容子さん)